



<定点把握感染症>

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
	第17週	第17週	第18週	増減	第17週	第18週	増減	第17週	第18週	増減	第17週	第18週	増減	第17週	第18週	増減	第17週	第18週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(45)			(10)			(10)			(4)			(9)			(12)			
インフルエンザ	8 0.00																			3
小児科定点 (定点医療機関数)		(29)			(6)			(7)			(3)			(6)			(7)			
RSウイルス感染症	438 0.14																			3
咽頭結膜熱	382 0.12	7 0.24	6 0.21	▼									7 1.17	5 0.83	▼		1 0.14	△	133	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	738 0.24	5 0.17	6 0.21	△				2 0.29	4 0.57	△			3 0.50	2 0.33	▼				225	
感染性胃腸炎	11488 3.71	198 6.83	90 3.10	▼	37 6.17	12 2.00	▼	34 4.86	23 3.29	▼	14 4.67	5 1.67	▼	74 12.33	20 3.33	▼	39 5.57	30 4.29	▼	3829
水痘	208 0.07																			43
手足口病	440 0.14	2 0.07		▼	2 0.33		▼													25
伝染性紅斑	33 0.01																			5
突発性発しん	1198 0.39	16 0.55	10 0.34	▼	1 0.17		▼	3 0.43	1 0.14	▼				8 1.33	3 0.50	▼	4 0.57	6 0.86	△	204
ヘルパンギーナ	52 0.02	1 0.03		▼				1 0.14		▼										29
流行性耳下腺炎	81 0.03																			9
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	5 0.01																			0
流行性角結膜炎	97 0.14	1 0.13	2 0.25	△	1 1.00	△		1 0.33	△		1 1.00	▼								40
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5 0.01																			1
クラミジア肺炎																				0
マイコプラズマ肺炎	6 0.01																			0
細菌性髄膜炎	6 0.01																			0
無菌性髄膜炎	8 0.02																			0

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

<全数把握感染症>

報告なし

<通信欄>

※大型連休に伴う医療機関の休診により、報告数が少なくなっています。

※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムの運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象外となりました。

山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。(QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)



※警報・注意報の基準値

疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症															0
咽頭結膜熱		2	3	1											6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					1	1	1	1	1	1					6
感染性胃腸炎	1	5	18	14	10	17	9	6	3	3	2	1		1	90
水痘															0
手足口病															0
伝染性紅斑															0
突発性発しん		6	4												10
ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎															0

< 令和4年3月 月報 >

2022年4月20日 発行

疾患名	山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)	
	2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	15	14	3	6	2	2	1	1	4	2	5	3	42
	定点当り	1.50	1.40	1.00	2.00	2.00	2.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.67	1.00	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数		4						1		2		1	8
	定点当り		0.40						1.00		1.00		0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	1	1							1			1	6
	定点当り	0.10	0.10							0.50			0.33	
淋菌感染症	報告数	3	2		1	1	1					2		7
	定点当り	0.30	0.20		0.33	1.00	1.00					0.67		
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	6	3	1	1				1	1		4	1	10
	定点当り	0.60	0.30	0.50	0.50				1.00	0.50		1.33	0.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	13	15	2	1	2	3		2			9	9	47
	定点当り	1.30	1.50	1.00	0.50	1.00	1.50		2.00			3.00	3.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													0
	定点当り													

<トピックス>

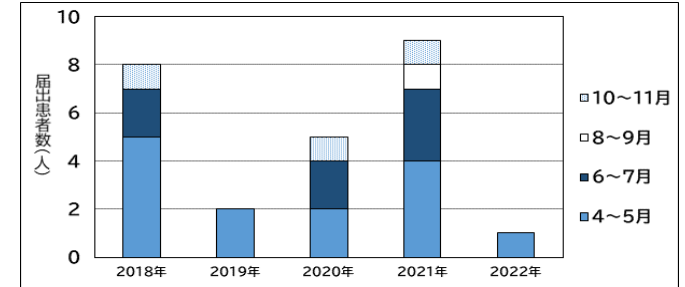
つつが虫病に注意しましょう

つつが虫病は、山形県では例年4月下旬から6月上旬にかけて多く報告されています。今年は4月22日(第16週)に、県内最初の感染者が報告されました。

農作業やレジャーなど、屋外で過ごす機会が増える季節ですので、つつが虫病に注意が必要です。

<つつが虫病報告数(山形県)>

2022.5.10現在



<つつが虫病とは>

典型的な症例では、ツツガムシ幼虫に刺されてから5～14日後に39度以上の高熱を伴って発症します。その際、ツツガムシに刺された皮膚には、かさねたような刺し口がみられます。その後数日で、体幹部を中心に発疹がみられるようになります。

重症化を防ぐためには、早期につつが虫病を疑い、適切な抗菌薬の投与が重要です。受診の際は、医師にツツガムシのいそうな場所に立ち入ったことや、刺し口があることを伝えましょう。



ヒゲツツガムシの幼虫 (撮影：衛生研究所)

ツツガムシ幼虫は、畑や山林などの草むらに住んでいます。草の多い場所に立ち入るときは、長袖・長ズボン・手袋などを着用し、肌が露出しないようにしましょう。市販の虫よけ剤も有効です。



※衛生研究所では、つつが虫病についてのパンフレットを作成しています。衛生研究所のホームページからダウンロードできますので右のQRコードを読み取るかPDFファイル上でクリックしてご覧ください。

